



武内 涼太

INTERVIEW

千葉ロッテマリーンズ入団

Q1

当日、どんな思いで過ごしていましたか。自分の名前が呼ばれた時の心境を教えてください。

プロ野球の世界に入るために星稜の門を叩きました。ずっとなりたかったプロ野球選手であり、「どうにか選ばれてくれ」という思いで長く待ち続けていました。選ばれた瞬間、自分自身は支配下登録を目指していましたが、育成での指名で悔しさはありました。しかし、まずは選ばれてホッしました。

Q2

星稜の3年間で学んだこと、それをプロでどう活かしたいかを教えてください。

3年間で学んだことは、「仲間の大切さ」です。日々の練習での成功や失敗を仲間と共有し、共に学び、成長することができました。また、どんなに辛い時でも、仲間と一緒に乗り越えることで、今の自分がいると感じています。野球部以外でも、異なる競技出身のクラスメイトと苦楽を共にした経験も貴重な思い出です。これからは野球が仕事になります。高校での3年間は貴重な経験でしたが、次のステージでは、これより長くチームの仲間と共に頑張っていくことになります。そのため、星稜高校で学んだ仲間の大切さを活かし、プロの世界でもチームとの絆を大切にしていきたいと考えています。

Q5

今後、プロの世界で、投手としてプレーする中で、投手としての面白さを感じるポイントは何ですか？
また、甲子園ではホームランを打っていたそうですが、バッティングにおいて意識していたことがありましたら教えてくださいいただけますか。

中学校の頃は、正直に言うところ練習の中でバッティングの方が楽しかったです。しかし、高校に入ってから、野球について深く考える中で投手としての面白さに気づきました。具体的には、失敗が多いところに投手の面白さを感じています。毎日うまくいかない中で試行錯誤することに魅力を感じます。バッターはフォームを固めることが重要と言われますが、体の状態や日々のコンディションが異なるため、その探究が楽しいと感じています。自分を客観的に見つめ直すことができます。面白くなり、これから投手として全力で取り組んでいきます。

僕個人としてバッティングは、いい意味での遊びだと思っています。そんなに硬くならず、思い切り打って、思い切り飛ばすことを意識してやっています。



Q7

仲良くなりたい同期入団の選手は誰ですか。

ホークスの前田悠伍選手。ずっと自分たちの代のトップを走り続け、プレッシャーと戦いながらも結果を残し、それが評価されているからです。僕自身は、結果を出せなかったので、結果を出せた人というのは、何かがある・何かを持っていると思うので、そういう選手と仲良くなりたいです。

Q9

今後の野望を教えてください。

第1目標は、支配下登録です。ただ、将来を見据えながら行動することが重要だと考えています。まず、先を見据えて1年間戦える体作りやメンタルを鍛えていきたいです。また、チームメイトや監督、コーチから多くのことを学び、自身の成長につなげるために努力します。ほかに、プロ野球で活躍する選手には、何か特別なものがあると感じます。僕は、その「何か」を身につけるため、周りの選手から学び、吸収したいです。先を見据える力や安定したプレーのための能力、「何か」を身につけることができるよう頑張ります。



Q12

ロッテの選手の中で、関わってみたい選手はどなたですか。

佐々木朗希選手と意見交換をしてみたいです。今、日本球界で一番すごいと言われている投手です。プロ野球で活躍できる選手は、何かを持っているので、その「何か」を自分でみたい、聞いたりして、吸収していきたいと思っています。

Q3

星稜で野球部以外での学び・楽しみは何かありましたか。



昼休みなど、野球部の皆で体育館などに行ってバスケ・バレーなどをしたことや、体育の授業でのサッカーなどが印象深いです。

Q4

3年間で1番印象に残ったこと・悔しかったことはなんですか。

甲子園に3回出場できたことは嬉しかったです。特に、高校2年生の夏の県大会準々決勝の遊学館高校戦が印象的でした。試合は同点の8回裏から登板し、9回の表で逆転した際に1つ上の永井先輩から「後は頼んだぞ!」と言われ、その時にかなり気合が入り、勝つことができたことは嬉しかったです。

一方、甲子園で自分の思うような結果を残せなかったことは悔しいですが、プロの世界では妥協や甘さが命取りになるので、この経験を次のステージで活かしたいと思っています。



目標!!
支配下登録!

Q6

支配下登録されたら、対戦してみたい打者はいますか。

プロ野球選手は、みんないい選手ばかりなので、色々な選手と戦いたいです。

特に、右バッターであれば、ジャイアンツの岡本選手・左バッターであれば、ヤクルトの村上選手と戦いたいです。また、先輩の内山選手や山瀬選手たちとも戦い、勝てたらと思います。同じリーグだと、打率を残すことができるホークスの近藤選手です。

今挙げた選手だけではなく、プロの世界で活躍できる選手は、何かが凄い・それだけ安定して自分を出しているということなので、そういう部分も自分は欲しいので、実際に対戦してみ、それを吸収していきたいです。

Q8

登場曲にしたい曲。

寮で同室の近藤君と相談して決めた【AK-69 (エーケーシックスナイン) さんの「Divine Wind -KAMIKAZE-」】。

普通の歌っていうわけではないんですが、とても激しいというか登場したときに流れたらカッコいいなということで決めました。

Q10

最後に、星稜生に向けてメッセージをお願いします。

目標がある人は、どのようにすれば目標を達成することができるのかを常に考えてください。考えるのを止めずに、あきらめずに行動してってください。

今は目標がない人は、いつか目標が見つかったときに、それを形にできるだけの準備を今のうちから始めていってください。

Q11

新しい生活に対しての具体的なイメージはありますか。
どんな課題をもって、プロの世界に入るかや、楽しみにしていることなど教えてください。

一社会人として、礼儀はもちろん、礼儀以外の面でも先輩との関わりから学び、振る舞いをしっかりしていきたいです。今は、寮で暮らしていますが、また違った大人の世界を見ることが楽しみです。ロッテのユニフォームを着て、自分の力で這い上がっていくことが一番の楽しみです。

課題は、自分に甘いところです。自分がまだまだ甘かったために、夏の甲子園では結果が出なかったりしたので、どう自分に厳しくしていくか、それを何年、何十年も継続していくことをプロの世界で実行してやっていきたいと思っています。

